

科目区分	統合分野	科目名	在宅看護援助論Ⅲ(状態別看護)	対象学生	第3学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期
担当講師	非常勤講師				
科目目標	在宅療養者の病期に応じた看護を理解する。 在宅療養者と家族に対し健康維持、QOL向上を目指した看護を理解する。				
授業概要	<p>1. 日常生活動作(ADL)の低下および疾病の再発の予防が必要な在宅療養者の看護 (講義・演習)</p> <p>1) 日常生活のアセスメントと環境整備 2) 在宅療養者と家族のセルフマネジメントの維持・向上のための支援 3) 異常の早期発見と対応 4) 社会資源の活用・調整</p> <p>2. 急性期にある在宅療養者の看護 (講義・演習)</p> <p>1) 緊急性と重症度のアセスメント 2) 状態に合わせた対応・看護 3) 急性症状への対応 4) 感染症(肺炎等)への対応</p> <p>3. 慢性期にある在宅療養者の看護 (講義・演習)</p> <p>1) 慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント 2) 状態に合わせた対応・調整 3) 急性増悪の早期発見と対応 4) 社会資源の活用・調整</p> <p>4. 回復期(リハビリテーション期)にある在宅療養者の看護 (講義・演習)</p> <p>1) 在宅におけるリハビリテーション 2) 生活機能・日常生活動作(ADL)手段的日常生活動作(IADL)のアセスメント 3) 状態に合わせた対応・調整 4) 合併症の予防と対応 5) 居住環境のアセスメントと対応・調整 6) 社会資源の活用・調整</p> <p>5. 終末期(看取り期)にある在宅療養者の看護 (講義・演習)</p> <p>1) 症状マネジメント 2) 終末期緩和ケアの実際 3) 看取りの援助 4) 家族へのグリーフケア</p> <p>6. 小児の在宅療養者への看護 (講義・演習)</p> <p>1) 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 2) 療養者の自立支援とQOLの維持・向上のための在宅療養支援</p> <p>7. 認知症がある在宅療養者への看護 (講義・演習)</p> <p>1) 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 2) 療養者の自立支援とQOLの維持・向上のための在宅療養支援 3) 在宅療養継続のための家族支援</p> <p>8. 精神疾患がある在宅療養者への看護 (講義・演習)</p> <p>1) 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 2) 療養者の自立支援とQOLの維持・向上のための在宅療養支援 3) 在宅療養継続のための家族支援</p> <p>9. 難病がある在宅療養者への看護 (講義・演習)</p> <p>1) 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 2) 療養者の自立支援とQOLの維持・向上のための在宅療養支援 3) 在宅療養継続のための家族支援</p> <p>10. 科目終了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	<p>日常生活動作(ADL)の低下および疾病の再発の予防が必要な在宅療養者の日常生活のアセスメントと環境調整 在宅療養者と家族のセルフマネジメント力の維持・向上のための支援異常の早期発見と対応 社会資源の活用・調整 急性期にある療養者の緊急性と重症度のアセスメント 状態に合わせた対応・調整 急性症状への対応 感染症(肺炎等)への対応</p> <p>慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント 状態に合わせた対応・調整 急性増悪の早期発見と対応 回復期(リハビリテーション期)にある療養者の在宅におけるリハビリテーション 生活機能・ADLのアセスメント 居住環境のアセスメントと対応・調整 社会資源の活用・調整</p> <p>終末期における療養者の症状マネジメント 終末期緩和ケアの実施 看取りの援助 家族へのグリーフケア 小児の在宅療養者への在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 認知症の在宅療養者の在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 精神疾患がある在宅療養者の在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 難病がある在宅療養者の在宅療養継続のための療養者の健康危機管理 療養者の自立支援とQOLの維持・向上 在宅療養継続のための家族支援</p>				
授業の進め方	<p>講義・演習を組み合わせで行う。在宅看護の対象の特徴をふまえ、事例を用いて演習を行う。 在宅療養者とその家族の状況がイメージできるよう視聴覚教材を用いて学習を行う。</p>				
履修のポイント・留意事項	<p>在宅看護概論、人間と社会、共通基本技術、日常生活援助技術の学習内容(知識・技術)を復習して授業に臨む。 また、医療処置を必要とする在宅療養者への援助においては、疾病・治療論の学習内容を復習して授業に臨む。 在宅療養者を生活者の視点でとらえ、療養者と家族のQOLを考慮した援助ができるよう学習を深めていく。</p>				
テキスト	系統別看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院				
評価方法・配点	終了試験・課題レポート・授業参加状況を総合的に評価する。				